

210 イエスの復活(8)

ルカによる福音書 24 : 44~49、使徒言行録 1 : 3~12

▶弟子たちに現れる (ルカによる福音書 24 : 44~49)

44 イエスは言われた。

「わたしについてモーセの律法と預言者の書と詩編に (→in the Law of Moses, the Prophets and the Psalms) **書いてある事柄は、必ずすべて実現する。これこそ、まだと一緒にいたころ、言っておいたことである。**」

→ユダヤ教聖書は、①モーセの律法、②預言者の書、③詩編を含む諸書も三部構成で出来ている。

→律法と預言者=旧約聖書 (新約聖書はまだ存在していない、キリスト教者の表現)

①律法は旧約聖書のモーセ五書 (創世記、出エジプト記、レビ記、民数記、申命記) を指す。「律法」には神の民の初期の歴史と、神がモーセを通じて人々に与えた正しく生きるための諸規定が記されている。

②預言者は旧約聖書の預言書 (ヨシュア記、士師記、サムエル記、列王記、イザヤ書、エレミヤ書、エゼキエル書、そしてホセア書、ヨエル書、アモス書、オバデヤ書、ヨナ書、ミカ書、ナホム書、ハバクク書、ゼファニヤ書、ハガイ書、ゼカリヤ書、マラキ書の十二預言書) である。

タイトル(書名)	章:節 聖句 [検索対象総数 : 5 / 聖句等の総数 33250 <律法と預言者>5個]	聖書Navi Active 393128091 (新共同訳) [検索語彙 : 律法と預言者]
S マタイによる福音書	7:12 だから、人にしてもらいたいと思うことは何でも、あなたがたも人にしなさい。これこそ律法と預言者である。」	
S ルカによる福音書	16:16 律法と預言者は、ヨハネの時までである。それ以来、神の国の福音が告げ知らされ、だれもが力づくでそこに入ろうとしている。	
S ルカによる福音書	24:44 イエスは言われた。「わたしについてモーセの律法と預言者の書と詩編に書いてある事柄は、必ずすべて実現する。これこそ、まだあなたがたと一緒にいたころ、言っておいたことである。」	
S 使徒言行録	13:15 律法と預言者の書が朗読された後、会堂長たちが人をよこして、「兄弟たち、何か会衆のために励ましのお言葉があれば、話してください」と言わせた。	
S ローマの信徒への手紙	3:21 ところが今や、律法とは関係なく、しかも律法と預言者によって立証されて、神の義が示されました。	

45 そしてイエスは、聖書を悟らせるために彼らの (閉ざされた) 心の目を開いて、46 言われた。

(→リビング・バイブル: イエスが弟子たちの心の目を開いてくださったので、彼らはやっと理解しました。イエスは、さらに続けられました。)

「**次のように書いてある。『メシアは苦しみを受け、三日目に死者の中から復活する** (→NIV : The Messiah will suffer and rise from the dead on the third day,/NKJV:the Christ to suffer and to rise from the dead the third day,)。

47 **また、罪の赦しを得させる悔い改めが、その名によってあらゆる国の人々に宣べ伝えられる』と。エルサレムから始めて、48 あなたがたはこれらのことの証人となる。**

→リビング・バイブル: 悔い改めてわたしのもとに立ち返る人は、だれでも罪が赦されます。この救いの知らせは、エルサレムから始まり、世界中に伝えられるのです。あなたがたはこのことの証人です。

49 **わたしは、父が約束されたもの (=聖霊) をあなたがたに送る。高い所からの力に覆われるまでは、都 (→エルサレム) にとどまっていなさい。」**

→メシアは苦しみを受け=イザヤ 53 : 1~12

→二日の後、主は我々を生かし/三日目に、立ち上がらせてくださる。我々は御前に生きる。(ホセア 6 : 2)。

【参考】イザヤ書 53:1~12

わたしたちの聞いたことを、誰が信じようか。主は御腕の力を誰に示されたことがあるか。乾いた地に埋もれた根から生え出た若枝のように／この人は主の前に育った。見るべき面影はなく／輝かしい風格も、好ましい容姿もない。彼は軽蔑され、人々に見捨てられ／多くの痛みを負い、病を知っている。彼はわたしたちに顔を隠し／わたしたちは彼を軽蔑し、無視していた。彼が担ったのはわたしたちの病／彼が負ったのはわたしたちの痛みであったのに／わたしたちは思っていた／神の手にかかり、打たれたから／彼は苦しんでいるのだ、と。彼が刺し貫かれたのは／わたしたちの背きのためであり／彼が打ち砕かれたのは／わたしたちの咎のためであった。彼の受けた懲らしめによって／わたしたちに平和が与えられ／彼の受けた傷によって、わたしたちはいやされた。わたしたちは羊の群れ／道を誤り、それぞれの方角に向かって行った。そのわたしたちの罪をすべて／主は彼に負わせられた。苦役を課せられて、かがみ込み／彼は口を開かなかった。屠り場に引かれる小羊のように／毛を刈る者の前に物を言わない羊のように／彼は口を開かなかった。捕らえられ、裁きを受けて、彼は命を取られた。彼の時代の誰が思い巡らしたであろうか／わたしの民の背きのゆえに、彼が神の手にかかり／命ある者の地から断たれたことを。彼は不法を働かず／その口に偽りもなかったのに／その墓は神に逆らう者と共にされ／富める者と共に葬られた。病に苦しむこの人を打ち砕こうと主は望まれ／彼は自らを償いの献げ物とした。彼は、子孫が末永く続くのを見る。主の望まれることは／彼の手によって成し遂げられる。彼は自らの苦しみの実りを見／それを知って満足する。わたしの僕は、多くの人が正しい者とされるために／彼らの罪を自ら負った。それゆえ、わたしは多くの人を彼の取り分とし／彼は戦利品としておびたしい人を受け。彼が自らをなげうち、死んで／罪人のひとりに数えられたからだ。多くの人の過ちを担い／背いた者のために執り成しをしたのは／この人であった。

▶約束の聖霊（使徒言行録 1：3~5）

03 イエスは苦難を受けた後、御自分が生きていることを、数多くの証拠をもって使徒たちに示し、四十日にわたって彼らに現れ、神の国について話された。

→「四十」は、ユダヤ人にとって特別な意味を持つ数字である。

→神の国（=天の国）は、この世と、新しく来ようとする世での神の支配。→ファイル No.911

04 そして、彼らと食事を共にしていたとき、こう命じられた。

「エルサレムを離れず、前にわたしから聞いた、父（→父なる神）の約束されたものを待ちなさい。

05（洗礼者）ヨハネは水で洗礼を授けたが、あなたがたは間もなく聖霊による洗礼を授けられるからである（→口語訳：すなわち、ヨハネは水でバプテスマを授けたが、あなたがたは間もなく聖霊によって、バプテスマを授けられるであろう。）

→イエスが生まれる 1000 年程前、ダビデ王はエルサレムをユダヤ人の宗教と礼拝の中心地とした（ルカ 24：49）。

→洗礼は水による清めの儀式。キリストと一致する新しい生活に入るしるしとされる。

→聖霊は、イエスや弟子たちを導き、つなぎ、特別な才能を与える（ルカ 4：1、14、8：29、30）。聖霊は、使徒たちに宣教し、いやしを行う力を与えた。聖霊の力は、教会を成長、発展させた（使徒 9：31）。



1	2	3日目	1	2	...	39	40日目	1	2	...	9	10日目
金	土	日	月	火	...	木	金	土	日	...	日	月
3			40					10				

金	土	日	月	火	...	木	金	土	日	...	日	月
---	---	---	---	---	-----	---	---	---	---	-----	---	---

コリントの信徒への手紙ー 12 : 13 → **洗礼を受けた者(信者)の教会**との一体化
 つまり、一つの**霊** (→**聖霊**) によって、わたしたちは、ユダヤ人であろうとギリシア人であろうと、
 奴隷であろうと自由な身分の者であろうと、**①皆一つの体となるために洗礼を受け、**
②皆一つの霊をのませてもらったのです。

▶イエス、天に上げられる (使徒言行録 1 : 6~11)

06 さて、使徒たちは集まって、「**主よ、イスラエルのために国を建て直してくださるのは、この時ですか**」と尋ねた。

→リビング・バイブル：そこで、またイエスが姿を現された時、使徒たちは心躍らせながら、「主よ。今こそイスラエルを解放し、独立国として再興なさるのですか」と尋ねました。

07 イエスは言われた。

「父が御自分の権威をもってお定めになった時や時期は、あなたがたの知るところではない。08 **あなたがたの上に聖霊が降ると、あなたがたは力を受ける。そして、①エルサレムばかりでなく、②ユダヤと③サマリアの全土で、また、④地の果て** (→異邦人世界) に至るまで、わたしの証人となる。」

→使徒言行録 13 : 46~47

そこで、パウロとバルナバは勇敢に語った。「神の言葉は、まずあなたがたに語られるはずでした。だがあなたがたはそれを拒み、自分自身を永遠の命を得るに値しない者になっている。見なさい、わたしたちは異邦人の方に行く。主はわたしたちにこう命じておられるからです。『わたしは、あなたを異邦人の光と定めた、／あなたが、**地の果て**にまでも／救いをもたらすために。』」

09 こう話し終わると、イエスは彼ら (→使徒たち) が見ているうちに天に上げられた (→昇天) が、雲に覆われて (→シャカイナグローリーとともに) 彼らの目から見えなくなった。

→ルカによる福音書 24 : 50

イエスは、そこから彼らを**ベタニア** ●の辺りまで連れて行き、手を上げて祝福された。

→ (1) イエスの**昇天**：イエスのこの地上での奉仕は完了した (ヨハネ 14 : 28)。

ヨハネによる福音書 14 : 28

『わたしは去って行くが、また、あなたがたのところへ戻って来る』と言ったのをあなたがたは聞いた。わたしを愛しているなら、わたしが父のもとに行くのを喜んでくれるはずだ。父はわたしよりも偉大な方だからである。

↓

(2) イエスは、父なる神の右の座につかれた (使徒 2 : 32~35)。



タイトル(書名)	章:節 聖句 [検索対象総数 : 5 / 聖句等の総数 33250 <右の座>5個]	聖書Navi Active 393128091 (新共同訳) [検索語彙 : 右の座]
S エフェソの信徒への手紙	1:20 神は、この力をキリストに働かせて、キリストを死者の中から復活させ、天において御自分の右の座に着かせ、	
S コロサイの信徒への手紙	3:1 さて、あなたがたは、キリストと共に復活させられたのですから、上にあるものを求めなさい。そこでは、キリストが神の右の座に着いておられます。	
S ヘブライ人への手紙	1:3 御子は、神の栄光の反映であり、神の本質の完全な現れであって、万物を御自分の力ある言葉によって支えておられますが、人々の罪を清められた後、天の高い所にいらっしゃる大いなる方の右の座にお着きになりました。	

S	ヘブライ人への手紙	8:1 今述べていることの要点は、わたしたちにはこのような大祭司が与えられていて、天におられる大いなる方の玉座の右の座に着き、
S	ヘブライ人への手紙	10:12 しかしキリストは、罪のために唯一のいけにえを献げて、永遠に神の右の座に着き、

↓

(3) イエスは、天において大祭司としての働きを開始された (ヘブライ 4 : 14~16)。

	タイトル(書名)	章:節 聖句 [検索対象総数 : 10 / 聖句等の総数 33250 <大祭司>11個]	聖書Navi Active 393128091 (新共同訳) [検索語彙 : 大祭司]
S	ヘブライ人への手紙	4:14 さて、わたしたちには、もろもろの天を通過された偉大な大祭司、神の子イエスが与えられているのですから、わたしたちの公に言い表している信仰をしっかりと保とうではありませんか。	
S	ヘブライ人への手紙	4:15 この大祭司は、わたしたちの弱さに同情できない方ではなく、罪を犯されなかったが、あらゆる点において、わたしたちと同様に試練に遭われたのです。	
S	ヘブライ人への手紙	5:2 大祭司は、自分自身も弱さを身にまとっているのです。無知な人、迷っている人を思いやることができます。	
S	ヘブライ人への手紙	5:5 同じようにキリストも、大祭司となる栄誉を御自分で得たのではなく、／「あなたはわたしの子、／わたしは今日、あなたを産んだ」と言われた方が、それをお与えになったのです。	
S	ヘブライ人への手紙	6:20 イエスは、わたしたちのために先駆者としてそこへ入って行き、永遠にメルキゼデクと同じような大祭司となられたのです。	
S	ヘブライ人への手紙	7:27 この方は、ほかの大祭司たちのように、まず自分の罪のため、次に民の罪のために毎日いけにえを献げる必要はありません。というのは、このいけにえはただ一度、御自身を献げることによって、成し遂げられたからです。	
S	ヘブライ人への手紙	7:28 律法は弱さを持った人間を大祭司に任命しますが、律法の後になされた誓いの御言葉は、永遠に完全な者とされておられる御子を大祭司としたのです。	
S	ヘブライ人への手紙	8:1 今述べていることの要点は、わたしたちにはこのような大祭司が与えられていて、天におられる大いなる方の玉座の右の座に着き、	
S	ヘブライ人への手紙	8:6 しかし、今、わたしたちの大祭司は、それよりはるかに優れた務めを得ておられます。更にまさった約束に基づいて制定された、更にまさった契約の仲介者になられたからです。	
S	ヘブライ人への手紙	9:11 けれども、キリストは、既に実現している恵みの大祭司としておいでになったのですから、人間の手で造られたのではない、すなわち、この世のものではない、更に大きく、更に完全な幕屋を通り、	

↓

(4) イエスの代わる地上での働きは、弟子たちの手に委ねられた (使徒 1 : 8)。

使徒言行録 1 : 8

あなたがたの上に聖霊が降ると、あなたがたは力を受ける。そして、エルサレムばかりでなく、ユダヤとサマリアの全土で、また、地の果てに至るまで、わたしの証人となる。」

↓

聖霊降臨

↓

再臨

マタイによる福音書 24 : 30

そのとき、人の子の徴が天に現れる。そして、そのとき、地上のすべての民族は悲しみ、人の子が大いなる力と栄光を帯びて天の雲に乗って来るのを見る。

10 イエスが離れ去って行かれるとき、彼らは（驚きと悲しみをもって）天を見つめていた。すると、白い服を着た二人の人（→天使、ルカ 24：4 の天使）がそばに立って、11 言った。「ガリラヤの人たち（→多くの使徒たちの出身地）、なぜ天を見上げて立っているのか。あなたがたから離れて天に上げられたイエスは、天に行かれるのをあなたがたが見たのと同じ有様で、またおいでになる。」

12 使徒たちは、「オリーブ畑」と呼ばれる山から（大喜びで）エルサレムに戻って来た。この山はエルサレムに近く、安息日にも歩くことが許される距離の所にある。
→ルカによる福音書 24：52～53
彼らはイエスを伏し拝んだ後、大喜びでエルサレムに帰り、絶えず神殿の境内にいて、神をほめたたえていた。



・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・<<<<< < 完 > > >>>>>・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

【一言】 聖書にまつわる数字等

- 1. 聖書のタイトル数：2,044 タイトル=2,040 タイトル+4 タイトル・・・①
内訳：(旧約聖書) 1,189 タイトル=1,186+3→58.2%、(新約聖書) 855 タイトル=854+1→41.8%

タイトル(書名)	章:節 聖句 [検索対象総数: 4 / 聖句等の総数 33250]	聖書Navi Active 393128091 (新共同訳)
K 出エジプト記	◇契約の書(20章22節-23章19節)	
K レビ記	◇神聖法集(17-26章)	
K 民数記	◇献げ物の規定(28-29章)	
S マルコによる福音書	◇結び 二(16:20)	

- 2. 文章の数：51,347 文
内訳：(旧約聖書) 38,671 文→75.3%、(新約聖書) 12,676 文→24.7%
 - 3. 聖句数：31,206 聖句 (タイトルを除く)・・・②
内訳：(旧約聖書) 23,251 聖句→74.5%、(新約聖書) 7,955 文→25.5%
 - 4. 聖句等の総数 33,250=①+②
 - 5. 聖句の長文BEST 5
 - 〈1〉 ルツ記 4：4
 - 〈2〉 士師記 6：13
 - 〈3〉 ヨハネの手紙 I 2：14
 - 〈4〉 列王記下 16：15
 - 〈5〉 列王記下 10：15
- 短い聖句
- 〈1〉 ルカ 20：30→次男、
 - 〈2〉 ヨブ記 3：2→言った。

【参考】 イエスの十字架から聖霊降臨まで

マタイによる福音書	16:21 このときから、イエスは、御自分が必ずエルサレムに行って、長老、祭司長、律法学者たちから多くの苦しみを受けて殺され、三日目に復活することになっている、と弟子たちに打ち明け始められた。
マタイによる福音書	17:23 そして殺されるが、三日目に復活する。」弟子たちは非常に悲しんだ。
マタイによる福音書	20:19 異邦人に引き渡す。人の子を侮辱し、鞭打ち、十字架につけるためである。そして、人の子は三日目に復活する。」 (→ローマ人)
マタイによる福音書	27:64 ですから、三日目まで墓を見張るように命令してください。そうでないと、弟子たちが来て死体を盗み出し、『イエスは死者の中から復活した』などと民衆に言いふらすかもしれません。そうすると、人々は前よりもひどく惑わされることになります。」
ルカによる福音書	9:22 次のように言われた。「人の子は必ず多くの苦しみを受け、長老、祭司長、律法学者たちから排斥されて殺され、三日目に復活することになっている。」 ※1
ルカによる福音書	18:33 彼らは人の子を、鞭打ってから殺す。そして、人の子は三日目に復活する。」
ルカによる福音書	24:7 人の子は必ず、罪人の手に渡され、十字架につけられ、三日目に復活することになっている、と言われたではないか。」
ルカによる福音書	24:46 言われた。「次のように書いてある。『メシアは苦しみを受け、三日目に死者の中から復活する。』
使徒言行録	1:3 イエスは苦難を受けた後、御自分が生きていることを、数多くの証拠をもって使徒たちに示し、四十日にわたって彼らに現れ、神の国について話された。
使徒言行録	1:9 こう話し終わると、イエスは彼らが見ているうちに天に上げられたが、雲に覆われて彼らの目から見えなくなった。
使徒言行録	2:1 五旬祭の日が来て、一同が一つになって集まっていると、 (→過越祭から50日後に行われるユダヤ人の祭りで、小麦の収穫を祝うことから収穫祭とも呼ばれる。)
使徒言行録	2:2 突然、激しい風が吹いて来るような音が天から聞こえ、彼らが座っていた家中に響いた。
使徒言行録	2:3 そして、炎のような舌が分かれ分かれに現れ、一人一人の上にとどまった。
使徒言行録	2:4 すると、一同は聖霊に満たされ、“霊”が語らせるままに、ほかの国々の言葉で話した。
使徒言行録	10:40 神はこのイエスを三日目に復活させ、人々の前に現してくださいました。
コリント信徒への手紙 I	15:4 葬られたこと、また、聖書に書いてあるとおり三日目に復活したこと、



1	2	3 日目	1	2	...	39	40 日目	1	2	...	9	10 日目
金	土	日	月	火	...	木	金	土	日	...	日	月
3			40					10				

※1:古代ユダヤ社会において、長老は経済的に余裕を持った年配者で、祭司長と密接な関係を持ち、指導者的立場にあった。彼らはローマ帝国よりユダヤ人の地元の問題を取り決める権利を付与され、議会(最高法院、サンヘドリン)を結成していた。律法学者はユダヤ教の学者で、律法を研究し、その教えに沿っていかに生きるかを説いていた。祭司長は神殿の中での祭儀、財政、警察を担当し、最高法院の中枢にあたる者である。